

湯上市 認知症ケアガイド

詳細版



湯上市

はじめに

潟上市認知症ケアガイドについて

認知症は脳の障害によって、正常に働いていた機能が低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった**状態**をいいます。認知症は誰にでも起こり得る可能性があり、経過や症状も様々です。

この認知症ケアガイドは認知症の人やその家族が、どのような支援や医療、介護サービスを受けたらよいか理解でき、市民が認知症についての正しい理解を持ち、住み慣れた地域で支え合いができる手助けとなるよう作成しました。

みなさん一人一人の心をつなぎ、できることから認知症支援をはじめましょう。



1 認知症を正しく知ろう

- (1) もの忘れと認知症の違い P 1
- (2) 認知症の種類と特徴 P 2
- (3) 「中核症状」と「行動・心理症状」 P 3

2 認知症ケアの流れ

- (1) 進行と主な症状 P 4
- (2) 進行と程度からみる潟上市の支援とサービス P 5

3 認知症の方への対応

- (1) 対応の心得とポイント P 6
- (2) こんなとき、どうするの？(事例) P 6~7

4 治療と予防 P 8

5 相談機関等 P 9~10

6 医療機関 P11

7 チェックしてみよう P12

1

認知症を正しく知ろう

認知症の人を理解し、家族、地域で支援していくためには、
認知症についてよく知ることが大切です！



認知症は、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで様々な障害が起こり、生活に支障が出る状態を言います。誰にでも起こる可能性があり、65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍（軽度認知障害）と言われています。



(1) もの忘れと認知症の違い

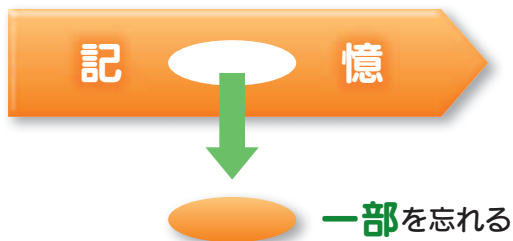
「人の名前がでてこない」「ものの置き場所を忘れる」などのもの忘れは年を取れば大なり小なり誰もが経験します。

でも…、それは本当に「単なるもの忘れ」ですか？

もしかすると、「認知症による記憶障害」かもしれません…。



加齢による「もの忘れ」



- 体験や出来事の一部を忘れる
- ヒントがあれば思い出せる
- もの忘れを自覚している

(例) 朝ご飯を食べたことは覚えているが何を食べたかは思い出せない。

認知症による「記憶障害」



- 体験や出来事の全てを忘れる
- ヒントを出しても思い出せない
- もの忘れの自覚がない

(例) 朝ごはんを食べたことを忘れる。

(2) 認知症の種類と特徴

認知症は状態をさす言葉であり、認知症の原因となる病気は様々あります。

アルツハイマー型認知症

認知症の原因として最も多い病気です。脳の神経細胞が広範囲で死滅、変性し、脳全体が委縮していきます。記憶力や生活する機能などが低下し、ゆっくりと進行します。気づいた時にはかなり進行している場合があるので、早期発見が重要です。



レビー小体型認知症

脳内に「レビー小体」という物質が多数あられ、たまっていき、脳が変性します。初期には「壁に虫がいる」というような幻視や、「洋服が人に見える」というような錯視などの症状が見られます。気分や態度の変化も大きく、体や表情のこわばりもみられます。



前頭側頭型認知症

脳の前の部分（前頭葉）と脳の横の部分（側頭葉）の委縮が目立ちます。自分の思い通りに行動したり、同じ行動を繰り返したりする異常行動や性格の変化がみられます。



血管性認知症

脳梗塞や脳出血により脳の神経細胞の働きが損なわれます。初期に注意力や意欲の低下がみられ、脳の障害のうけた部分により手足のマヒや歩行障害、言語障害、判断力の低下が症状として現れます。



その他の認知症の原因となる病気

● 正常圧水頭症

脳の髄液の流れが悪くなり、脳室に髄液がたまって脳を圧迫します。

● 脳腫瘍

脳や脳をとりまく組織に腫瘍ができる病気です。



(3) 「中核症状」と「行動・心理症状」

認知症の症状は誰にでも起こる「中核症状」と、性格、環境、人間関係など様々な要因により起こる「行動・心理症状」があります。



中核症状

…………… 誰にでも現れる症状。

記憶障害

- ・新しいことを覚えられない。
- ・覚えているはずの記憶が思い出せない。

理解・判断力の低下

- ・考えるスピードが遅くなる。
- ・いつもと違うことをすると混乱しやすくなる。

見当識障害

- ・時間や場所、人、季節感が分からなくなる。

実行機能障害

- ・段取りを立てて行動できない。
- ・計画通りに実行できない。

行動・心理症状

…………… 本人の性格や環境、周囲の関わりにより現れる症状。

不安・焦燥

- ・落ち着かない。イライラする。

〇〇が盗ったに
違いない！

妄想

- ・現実にはないことを思い込む。



睡眠障害

- ・昼と夜が逆転する。夜眠れない。

歩き回る

- ・外に出て道に迷う。

攻撃的な言動

- ・大声を出したり、手をあげようとする。

食行動異常

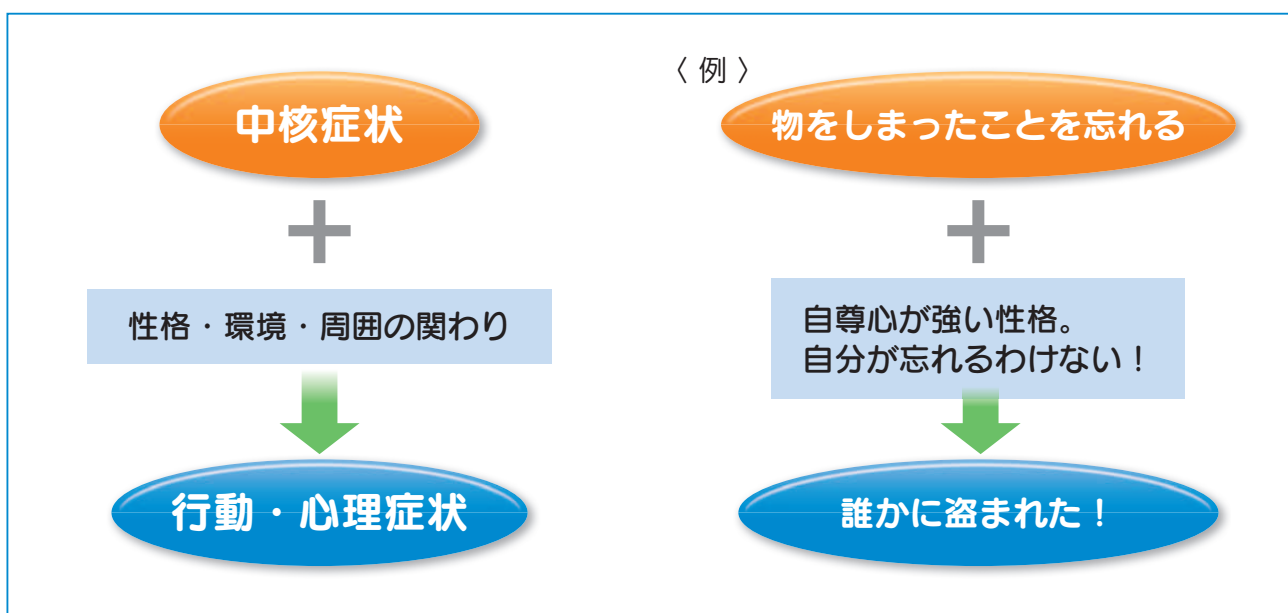
- ・食べられないものを食べようとする。

幻覚

- ・実際にはないものが見える。

介護抵抗

- ・入浴や着替えを嫌がる。



2

認知症ケアの流れ

(1) 進行と主な症状

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。進行に合わせて上手に対応していくことが大切です。まずは認知症について確認してみましょう。

正 常 なうちは？

- 正しい知識や理解を深めておく。
- ボランティア活動や介護予防教室などへ参加。
- 何かおかしいと感じたらすぐに相談する。

予防が大事

↓
P8へ



軽度認知障害 (MCI) とは？

- 認知症と正常の中間の状態のことをいいます。
- もの忘れの自覚はあるが、記憶力、意欲の低下以外に認知機能の障害がみられず、日常生活への影響がほとんどない状態。

早期発見が大事

↓
かかりつけ医・潟上市地域包括支援センターへ相談

数年後に認知症へ移行する
可能性があります

進行／日常生活

本人の様子

家族の心がまえ

軽 度

- 認知症の疑い
- ほぼ自立

- 約束の日付や場所を間違ふようになる
- 計画や段取りどおり行動することが苦手になる
- 食事など前後のことを忘れる
- 料理の品数が減る



- 接し方の基本やコツなどを理解する
- 家族間で介護のことについて話し合い、共通理解の場を作る
- 介護の悩みや心配事は早いうちから相談する
- 近所や地域の人から協力や理解をしてもらうことも大切

中 等 度

- 見守りがあれば自立
- 手助け、介助が必要

- 服薬管理ができなくなってきた
- 慣れた道でも迷ふようになった
- 数を覚えることができない
- 服を選んで着ることができない
- 料理ができなくなった
- 食事やトイレなど失敗が目立つ
- 妄想や興奮がみられる



- 介護者が体調を崩しやすい時期。健康管理に気を付け、医療・介護サービスを上手に利用する
- 興奮や妄想が多くなり、家族では上手に対応できない場面が増えてくるため、担当ケアマネジャーなどに相談する

高 度

- 手助け、介助が必要
- 常に介護が必要

- 意思の疎通が難しくなる
- 生活全般に介護が必要
- 寝たきりになる
- 家族の顔が分からなくなる

- できないことが増えてきた結果、合併症を起こしやすくなることを理解しておく
- どのような終末期を迎えるか、家族で話し合っておく

● 潟上市での支援やサービスを、次のページで確認しましょう。

(2) 進行と程度からみる潟上市の支援とサービス

※潟上市で整備されている支援等を標準的に示しました。
今後も認知症支援事業を推進していきます。

支 援	正 常	軽度認知障害	軽 度	中等度	高 度
相談・訪問	認知症初期集中支援チーム（潟上市地域包括支援センター）				
介護予防	介護予防学習会（地域の集会所等で開催） 介護予防教室（脳トレ講座・ひざ痛対策教室等）				
安否確認	ふれあい安心電話・安全パトロール 社会福祉協議会・民生委員等地域住民ネットワークによる見守り				
生活支援 在宅介護	配食サービス（食の自立支援事業） 軽度の生活援助（雪かきなど）・寝具類等洗濯乾燥消毒サービス 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス・通所型サービス）		シルバークンセンター 在宅介護サービス（ホームヘルパー・デイサービス・ショートステイ・小規模多機能型サービスなど）		
住 まい 施 設	自 宅				
	住宅型有料老人ホーム				
	生活支援ハウス				
			高 齢 者 ハ ウ ス		
			 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 介護老人保健施設 特別養護老人ホーム・地域密着型特別養護老人ホーム		
医 療	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局 認知症サポート医 専門医療機関 訪問看護				
権利擁護	成年後見制度 日常生活自立支援事業				
家族支援	家族介護者の交流会・家族介護教室 認知症カフェ				

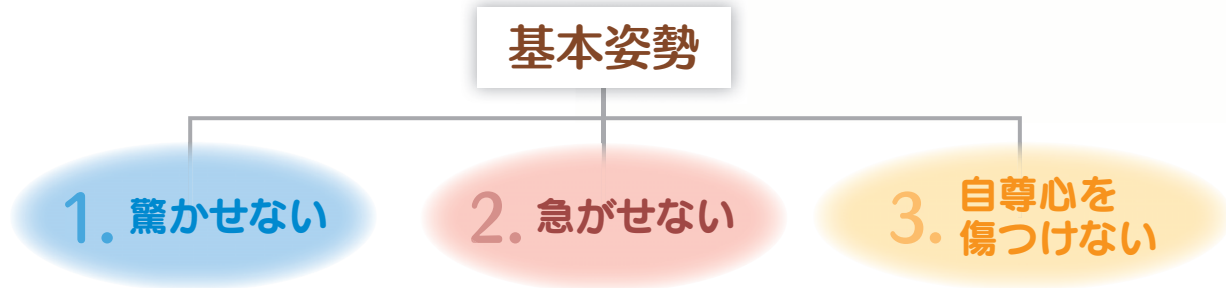
認知症に関する支援等

- ★認知症サポーター養成講座……………市内中学校、自治会、各種団体等で実施。要望にも対応。
- ★認知症に関する勉強会……………地域での介護予防学習会などで実施。
- ★認知症サポート医による「もの忘れ相談会」…定期的に実施しています。市の広報等で案内。
- ★地域ケア会議（認知症部会）……………事例検討や意見交換、認知症施策の検討を行います。
- ★認知症ケア向上研修……………市内の医療・福祉・介護関係の事業所向け研修。
- ★助け合いひろがるネットワーク事業……………行方不明事案発生時に各機関と協力して対応します。

3

認知症の方への対応

(1) 対応の心得とポイント



認知症の人の心理

- 周囲が気づく前から、本人は何かおかしいと感じています。そして不安になります。
- 密かに認知症について調べたり、間違った認識をし将来に望みをなくし、うつ状態になることもあります。
- すべてが面倒になり、以前は面白かったことでも、興味がわいてきません。

対応の心得

- 誰よりも不安で、苦しく、悲しいのは本人です。
- 本人に認知症の自覚がないというのは大きな間違いです。
- 認知症で起こっている障害を補いながら、さりげなく自然に接することが一番の支援です。

ポイント

1. まずは見守る…………… まずは自分自身、心の整理を。
2. 余裕をもって対応する…………… 自然な声掛けの準備。
3. 声をかける時は一人で…………… 複数だと恐怖心が生まれる場合があります。
4. 相手の視野の中で声をかける…………… 後ろからだと驚いてオドオドしてしまいます。
5. 目線を合わせて優しい口調で…………… こちらの想いが伝わりやすくなります。
6. 穏やかにはっきりと…………… 相手が情報を処理しやすくなります。
7. 相手の話を聞き、ゆっくり対応…………… 聞いてもらえていることに安心感が生まれます。



(2) こんなとき、どうするの？

① 「同じことを何度も言ったり、聞いたりする」

症状 『記憶障害』によるものです。最近の出来事を思い出せないのです。

対応 何度同じことを言っても、できるだけ聞いてあげましょう。

例) 「ご飯はまだかねえ」…食べたことを思い出せない。

- 「準備に時間かかるから、しばらく待っててねえ」
- × 「さっき食べたでしょ！」 「同じこと何度も言わないで」

「あなた誰だっけ？」

- 「〇〇ですよ」「隣の〇〇ですよ」
- × 「忘れたの！〇〇でしょ！」



②「計算ができない、料理ができない」

症状 『実行機能障害』によるものです。計算したり、計画を立てて実行したりできません。

対応 ゆっくり時間をかけてやってもらいましょう。少し手助けをしてあげましょう。

例) 支払いの際モタモタしている。小銭があるのにお札での支払いばかり。

- ゆっくり金額を伝え、一緒に計算してあげましょう。
- × 「早く出してください!」「後ろのお客さんが待ってます!」

料理の味が変わった。上手くできなくなってきた。

- 一緒に作ったり、さりげなくレシピを出してあげましょう。
- × 「おいしくないから、もう作らなくていい!」



③「ウロウロ道に迷っているように見える」

症状 『見当識障害』によるものです。慣れた道でも迷ってしまいます。

対応 たとえ迷っていても何か目的があって歩いています。知り合いなら家族へ連絡したり知らない人なら安全な場所に誘導し警察に連絡しましょう。

例) 周りをキョロキョロ眺め、不安そうに歩いている。

- 「どちらへお出かけですかあ?」「近くまで一緒に行きましょうか?」
- × 「何やってるの?危ないでしょ!」「こんなところで何してるの!」

家にいるのに「家に帰る」と言う。

- 「一緒にご飯を食べていってください。」「天気が悪いので今日は泊まってください。」「何言ってるの、ここが家でしょ!」

④「急に怒りだした」

症状 『理解・判断力の低下』によるものです。周囲の刺激や情報に対応できていません。

対応 本人の興味がわく話題や、好みなどをすすめたり、冷静に対応しましょう。一緒になって怒ったり、プライドを傷つけるような対応だけはしないでください。

例) 「また、俺の事馬鹿にして!」と急に怒る。

- 「すみません、そんなつもりではなかったのですが。お茶でも飲んでもう一度お話しませんか?」
- × 「勝手なこと言わないで」「そんなに怒らなくてもいいでしょ」

怒った時の対応は専門職でも難しい場面があります。感情に寄り添う事がポイントです。

⑤「自分でしまった事を忘れ、物が無い、盗られたと言う」

症状 『妄想』という症状によるものです。身近な人に強く出る傾向があります。

対応 怒らず、一緒に探して、本人に見つけさせたりしましょう。

例) 「財布が盗まれた!お前が盗っただろ!」

- 「もう一回一緒に探してみよう」「私はこっちを探してみますね」
- × 「私が盗るわけないでしょ!」「泥棒扱いしないで!」



⑥「存在しないものが見える、音が聞こえる」

症状 『幻覚』という症状です。本人にはリアルに見えたり聞こえたりしています。

対応 否定せず、気持ちを受けとめましょう。

あまり話が大きくならないうちに話題をすり替えましょう。安心感を与えましょう。

例) 「男の人が家に勝手にあがってきて、二階の部屋にいる」

- 「そうですかあ、困りましたねえ。何をしに来ているんでしょうねえ。」「あ、そう言えばお客さんが来ると言っていましたね、でももう帰ったので大丈夫ですよ。」「そんな人いないわよ!」「夢でも見てるんじゃないの!」

4

治療と予防

治療 認知症は本人、家族の気づきが早期発見のカギ！

- ① 初期に気づくことで、症状を改善したり、進行を遅らせることができます場合があります。
- ② 治る病気によるものや一時的な症状の場合もあります。
- ③ 早期に専門医や福祉医療関係者と関わることで支援の幅が広がります。



気づいたら・・・まずは、かかりつけ医に相談しましょう

予防 認知症の予防は生活習慣の改善と、生きがいづくりが大切です！

生活習慣の改善

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は認知症発症のリスクを高めます。バランスの良い食事や、適度な運動は肥満や動脈硬化を防ぎ、脳の働きを活発にします。

✓ チェック① 『バランスの良い食生活を心がけていますか？』



- 塩分を控える …………… 高血圧の原因になります。薄味を心がけましょう。
- たんぱく質を摂取 …… たんぱく質（肉・魚・大豆等）を摂ることで、低栄養の予防になります。
- 野菜は毎食 …………… 抗酸化物質が動脈硬化予防になります。
- 水分補給 …………… 1日1～1.5ℓを目安に摂取。血流や細胞の新陳代謝を促します。
- 甘いものは控える …… 甘いものの食べ過ぎは脂質異常や糖尿病などのリスクを高めます。
- よく噛んで食べる …… 脳を刺激し、食べ過ぎ防止につながります。

✓ チェック② 『適度な運動をしていますか？』



有酸素運動 ウォーキング、簡単な体操など30分以上行います。脂肪が燃焼し、さらに脳の血流が良くなります。特にウォーキングは外の景色にも触れるため脳が活性化します。

筋力トレーニング 筋肉の衰えを防いで、転倒や骨折の予防にもなります。骨折により寝たきりになってしまえば脳の機能も低下してしまいます。

生きがいづくり

趣味や友達つきあい、社会参加は心や人生を豊かにし、脳の神経細胞を活性化します。

✓ チェック③ 『趣味を持ったり、社会活動をしていますか？』

- <参考>
- ★趣味を見つけよう。
 - ★ボランティア活動に参加しよう。
 - ★新聞や雑誌から情報収集しよう。
 - ★介護予防教室等へ参加しよう。
 - ★1日1回、外出してみよう。
 - ★頭を使うゲーム（将棋、囲碁など）をしよう。
 - ★日記をつけてみよう。



できることから始めましょう！

5

相談機関等

相談窓口

★「認知症や高齢者」に関わること、また「どこに相談したらいいかわからない」場合

潟上市地域包括支援センター	天王字棒沼台226-1	TEL : 853-5318
		FAX : 853-5233
老人介護支援センターてんのう	天王字鶴沼台43-231	TEL : 878-7341
		FAX : 878-7471
昭和在宅介護支援センター	昭和大久保字町後244	TEL : 877-6701
		FAX : 877-6706
飯田川在宅介護支援センター	飯田川下虻川字上谷地168-1	TEL : 877-7078
		FAX : 877-7074

介護相談

★介護サービス内容や事業所は様々で、サービス利用には介護認定と介護支援専門員のケアプランという計画書が必要になります。

サービスの利用を考えている方は地域包括支援センターか、下記事業所にご相談ください。

居宅介護支援事業所

ケアプランセンターてんのう	天王字鶴沼台43-231	TEL : 878-7341
		FAX : 878-7471
まごころプランステーション	天王字北野307-55	TEL : 878-6850
		FAX : 838-7520
あゆみ居宅介護支援事業所	天王字細谷長根34-1	TEL : 853-5580
		FAX : 870-6188
こもれび介護支援センター	天王字上江川47-130	TEL : 853-6071
		FAX : 872-2202
潟上居宅介護支援事業所	天王字棒沼台247-4	TEL : 874-7233
		FAX : 872-2519
居宅介護支援事業所おいわけ	天王字追分西2-35	TEL : 873-7775
		FAX : 873-7776
居宅介護支援センター ゆかりの森・追分	天王字上北野4-25	TEL : 870-4677
		FAX : 873-6115
支援センターしょうわ	昭和大久保字町後244	TEL : 877-6701
		FAX : 877-6706
南秋田在宅総合ケアセンター	昭和大久保字街道下92-1	TEL : 877-7288
		FAX : 877-7481
潟上市社会福祉協議会 ケアプランセンター	飯田川下虻川字ハツ口70	TEL : 854-8222
		FAX : 854-8251
飯田川居宅介護支援センター わかば園	飯田川下虻川字上谷地168-1	TEL : 877-7078
		FAX : 877-7074
SOMPOケア 秋田かたがみ 居宅介護支援	天王字持谷地117-5	TEL : 872-2732
		FAX : 872-2733
居宅介護支援センターすてっぴ	天王字追分50-4	TEL : 838-0872
		FAX : 838-0873

権利擁護

★日常生活自立支援事業

判断能力が弱まってきた高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを行います。

潟上市社会福祉協議会	飯田川下虻川字ハツ口70	TEL : 877-2677
		FAX : 854-8251

★成年後見制度

認知症などで判断能力が十分でない人が不利益を被らないように、家庭裁判所に申し立てをして、援助してくれる人を付けてもらう制度です。

地域包括支援センターへご相談ください。

その他

★もの忘れ相談会

市では認知症が疑われる高齢者やその家族などを支援するため認知症サポート医によるもの忘れ相談会を実施しています。

※開催日については潟上市広報でお知らせしております。

★秋田県高齢者総合相談・生活支援センター

認知症のご本人やご家族が抱える不安や悩みなどを、気軽に相談できる電話相談窓口です。

運 営：秋田県社会福祉協議会
相談日：月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
時 間：午前9時～午後5時
通話料：通常の電話料金は相談者の負担となります。
電 話：018-824-4165



★公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人として尊厳が守られ、安心して暮らせる社会の実現を目指して活動しています。家族が立ち上げ、家族やご本人が運営活動している日本で唯一の団体です。

相 談：家族会ではフリーダイヤルによる電話相談を実施しております。
認知症に関する知識や介護の仕方など何でもお尋ね下さい。
下記の秋田県支部でも電話相談を受け付けています。

相談日：月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く） 午前10時～午後3時
電 話：0120-294-456

※携帯、スマートフォンの場合は050-5358-6578（通話有料）まで。

秋田県支部

住 所：秋田市大町1-2-40 秋田臈員（びいき）内
電 話：018-866-0391 （毎週月曜日：10時30分～14時）



6

医療機関

★かかりつけ医

認知症に関する相談や診療はかかりつけ医も応じてくれる場合があります。まずはかかりつけ医に相談してみましょう。



★認知症サポート医

認知症の方を地域で支援する体制の中心的な存在として、地域の医療機関と地域包括支援センター等の連携を推進するとともに、認知症医療に関する助言を行う医師です。国が指定する研修機関で、認知症医療や関連施策に関する専門的な研修を修了した医師が、認知症サポート医として登録されます。

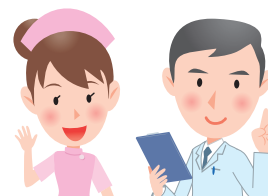
・潟上市の認知症サポート医 (R2.12.1現在)

藤原記念病院	藤原慶正先生
藤原記念病院	白山公幸先生
介護老人保健施設ほのぼの苑 施設長	小林 顕先生
杉山病院	畠山 浩先生
杉山病院	猪股 良之先生

★専門医療機関

秋田県認知症疾患医療センター (H30.3.1現在)

- ・都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置するもので、認知症の専門医や相談員を配置しています。



病院名	所在地	医療相談電話番号	相談受付時間帯
大館市立総合病院	大館市豊町3番1号	TEL:0186-42-5370 (代表電話)	月～金曜日 9時～16時 (祝日・年末年始除く)
たかのす今村クリニック (医療法人 久幸会)	北秋田市栄字中綱 89番5	TEL:0186-62-5655 (代表電話)	月～土曜日 8時30分～17時 (水・土は12時30分まで、 祝日・年末年始除く)
能代厚生医療センター (秋田県厚生農業協同組合連合会)	能代市落合字 上前田地内	TEL:0185-52-3111 (代表電話)	月～金曜日 9時～16時 (祝日・年末年始除く)
市立秋田総合病院 (地方独立行政法人 市立秋田総合病院)	秋田市川元松丘町 4番30号	TEL:018-866-7123 (専用電話)	月～金曜日 9時～16時 (祝日・年末年始除く)
秋田緑ヶ丘病院 (医療法人 久盛会)	秋田市飯島字堀川84	TEL:018-845-2228 (専用電話)	月～金曜日 9時～17時 (祝日・年末年始除く)
菅原病院 (特定医療法人 荘和会)	由利本荘市石脇字 田尻33番地	TEL:0184-22-1604 (代表電話)	月～金曜日 9時～16時 (祝日・年末年始除く)
秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター (地方独立行政法人 秋田県立病院機構)	大仙市協和上淀川字 五百刈田352	TEL:018-892-3751 (代表電話)	月～金曜日 9時～16時 (祝日・年末年始除く)
横手興生病院 (社会医療法人 興生会)	横手市根岸町8番21号	TEL:0182-32-2078 (専用電話)	月～金曜日 9時～16時30分 (祝日・年末年始除く)
菅医院 (医療法人 せいとく会)	湯沢市小野字東界 77-1	TEL:0183-52-2000 (代表電話)	月～土曜日 8時30分～12時、13時30分～17時 (土曜日は8時30分～12時、 祝日・年末年始除く)

家族が見つかった 認知症 早期発見の目安

出典／公益社団法人認知症の人と家族の会作成

これは、日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。その結果、何でもなければ安心ですし、他の病気が見つければそれはそれで対応ができます。どんな病気でもそうですが、認知症も早く見つけて早く対応すれば、本人にとっても家族にとっても、それ以後の生活は大きく変わります。「家族の会」の会員の経験が、みなさんの役に立てば幸いです。

❖ もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

❖ 判断・理解力が衰える

- 5 料理・片づけ・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった



❖ 時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある

❖ 人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた



❖ 不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が変になった」と本人が訴える



❖ 意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をすることも億劫がりいやがる




潟上市認知症ケアガイド

令和3年4月発行

編集・発行

潟上市地域包括支援センター（潟上市役所内）

TEL：018-853-5318





KATAGAMI